



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 THEグローバル社

コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永嶋 秀和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 岡田 一男

TEL 03-3345-6111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	3,924	62.6	36	—	△34	—	△32	—
28年6月期第1四半期	2,414	△58.4	△268	—	△332	—	△222	—

(注)包括利益 29年6月期第1四半期 △23百万円 (—%) 28年6月期第1四半期 △224百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年6月期第1四半期	△2.42	—
28年6月期第1四半期	△16.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年6月期第1四半期	27,955	6,493	23.0	476.55
28年6月期	26,802	6,740	24.9	447.87

(参考)自己資本 29年6月期第1四半期 6,418百万円 28年6月期 6,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年6月期	—	0.00	—	17.00	17.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	0.00	—	17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円銭
第2四半期(累計)	9,130	△28.0	△50	—	△191	—	△114	△8.58
通期	32,170	24.7	1,699	△1.5	1,312	△2.1	992	5.1
								74.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期1Q	13,468,600 株	28年6月期	13,379,800 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年6月期1Q	76 株	28年6月期	76 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期1Q	13,436,137 株	28年6月期1Q	13,193,324 株
----------	--------------	----------	--------------

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続きが実施中であります。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]2ページの[1 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明]をご覧ください。なお、当社は純粋持株会社であり、その業績の殆どがグループ間での内部取引によるものとなるため、個別業績及び個別業績予想の開示は省略いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高を背景とした輸出産業の低迷が見られたものの、新たな金融緩和や財政出動により底堅く推移しました。

当社グループが属する不動産業界におきまして、新築マンション市場は、一時的に販売不振がみられたものの、平成28年9月の首都圏のマンション契約率が72.0%（出所：株式会社不動産経済研究所の「首都圏のマンション市場動向」）と、好不調の目安となる70.0%を上回りました。

新築戸建市場は、都心近郊を中心に、底堅く推移しましたが、引続き需給バランスに注視していく必要があります。

このような状況下、当社グループは、マンション事業において、利便性の高い駅近物件を慎重に仕入れ、実需に応じたコンパクトマンション等、多様化するお客様のニーズに対応したデザイン性の高い高品質な家づくりに取り組ましました。

また、戸建事業におきましては、これまでの建売住宅に加え、多棟現場においてモデル棟を先行して建設し、定額制規格住宅「HOUSTYLE（ハウスタイル）」の販売を推進する等、よりニーズの高い上質な住宅の受注に力を入れました。

新規事業として、京都や東京におけるホテル開発、タイにおける合弁事業等にも取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高3,924百万円（前年同期比62.6%増）、営業利益36百万円（前年同期は268百万円の損失）、経常損失34百万円（前年同期は332百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失32百万円（前年同期は222百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりであります。なお、売上高の金額につきましては、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルローズ茅ヶ崎」等、合計60戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高2,815百万円（前年同期は148百万円）、営業利益243百万円（前年同期は50百万円の損失）となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「練馬区中村南2期プロジェクト」、「さいたま市南区文蔵2期プロジェクト」、「横浜市青葉区松風台プロジェクト」等、分譲19戸、請負工事4戸、計23戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高846百万円（前年同期比57.7%減）、営業損失106百万円（前年同期は44百万円の損失）となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部15物件35戸、東京都下1物件25戸、神奈川県3物件74戸、埼玉県2物件4戸、千葉県1物件1戸、合計22物件139戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高299百万円（前年同期比90.5%増）、営業利益38百万円（前年同期は39百万円の損失）となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、平成28年9月30日現在のマンション管理戸数が前期末に比べ102戸増加し、3,170戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高101百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益15百万円（同31.5%増）となりました。

[その他]

その他としましては、ゴルフ練習場運営等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高13百万円（前年同期比41.7%減）、営業利益2百万円（同64.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,153百万円増加し、27,955百万円となりました。負債については前連結会計年度末から1,400百万円増加し、21,461百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から247百万円減少し6,493百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、現金及び預金が1,707百万円減少、仕掛販売用不動産が2,035百万円増加、及び販売用不動産が740百万円増加したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が2,494百万円増加、買掛金が184百万円減少、及び未払法人税等が200百万円減少したことによるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、利益剰余金が259百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の連結業績予想につきましては、第2四半期及び通期ともに、平成28年8月8日に公表した数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,517,756	3,810,457
売掛金	55,425	18,210
完成工事未収入金	164,314	146,780
販売用不動産	5,144,489	5,885,323
仕掛販売用不動産	13,646,243	15,681,682
前払費用	535,721	490,438
繰延税金資産	52,373	114,346
その他	515,995	617,650
流動資産合計	25,632,319	26,764,889
固定資産		
有形固定資産	243,580	232,906
無形固定資産	22,627	20,300
投資その他の資産		
投資有価証券	357,087	350,731
破産更生債権等	132,539	132,519
その他	546,440	586,328
貸倒引当金	△132,539	△132,519
投資その他の資産合計	903,527	937,059
固定資産合計	1,169,735	1,190,267
資産合計	26,802,055	27,955,157
負債の部		
流動負債		
買掛金	622,925	438,121
短期借入金	4,688,586	5,194,487
1年内返済予定の長期借入金	4,844,321	5,861,081
1年内償還予定の社債	315,600	315,600
未払金	208,954	227,759
未払法人税等	264,019	63,731
未払消費税等	104,984	23,819
前受金	990,685	423,550
賞与引当金	13,973	55,074
その他	207,035	85,381
流動負債合計	12,261,086	12,688,607
固定負債		
社債	509,400	469,400
長期借入金	7,189,967	8,201,708
繰延税金負債	12,315	14,939
その他	88,923	87,334
固定負債合計	7,800,606	8,773,381
負債合計	20,061,692	21,461,988

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	392,736	394,379
資本剰余金	1,338,965	1,340,608
利益剰余金	4,914,859	4,655,076
自己株式	△33	△33
株主資本合計	6,646,527	6,390,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,651	21,891
為替換算調整勘定	5,395	6,458
その他の包括利益累計額合計	19,046	28,349
新株予約権	74,788	74,788
純資産合計	6,740,363	6,493,168
負債純資産合計	26,802,055	27,955,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,414,170	3,924,698
売上原価	2,041,405	3,012,255
売上総利益	372,765	912,443
販売費及び一般管理費	641,474	875,609
営業利益又は営業損失(△)	△268,708	36,833
営業外収益		
受取利息	975	819
受取手数料	4,546	9,292
解約精算金	13,682	3,000
その他	9,292	9,039
営業外収益合計	28,496	22,151
営業外費用		
支払利息	62,948	70,944
持分法による投資損失	635	—
支払手数料	6,041	10,581
為替差損	14,662	6,862
その他	7,792	5,494
営業外費用合計	92,081	93,883
経常損失(△)	△332,293	△34,898
特別利益		
関係会社株式売却益	532	—
固定資産売却益	212	—
特別利益合計	745	—
特別損失		
固定資産除売却損	4	2,067
その他	—	300
特別損失合計	4	2,368
税金等調整前四半期純損失(△)	△331,552	△37,267
法人税、住民税及び事業税	19,905	58,733
法人税等調整額	△128,682	△63,429
法人税等合計	△108,777	△4,695
四半期純損失(△)	△222,775	△32,571
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△222,775	△32,571

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△222,775	△32,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,225	8,239
為替換算調整勘定	5,256	1,062
その他の包括利益合計	△1,969	9,302
四半期包括利益	△224,744	△23,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△224,744	△23,269

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マンシ ョン事 業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	148,213	2,002,926	147,683	91,623	2,390,447	23,723	2,414,170	—	2,414,170
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	9,657	400	10,058	—	10,058	△10,058	—
計	148,213	2,002,926	157,340	92,024	2,400,505	23,723	2,424,228	△10,058	2,414,170
セグメント利益 又は損失(△)	△50,451	△44,654	△39,215	11,853	△122,467	6,857	△115,610	△153,098	△268,708

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△153,098千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マンシ ョン事 業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,815,458	846,974	149,164	99,265	3,910,863	13,834	3,924,698	—	3,924,698
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	150,513	1,864	152,377	—	152,377	△152,377	—
計	2,815,458	846,974	299,677	101,129	4,063,241	13,834	4,077,076	△152,377	3,924,698
セグメント利益 又は損失(△)	243,572	△106,663	38,041	15,588	190,539	2,426	192,965	△156,132	36,833

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△156,132千円は、未実現利益の調整額等185千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用156,317千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。